

**古河の美味しい料理とお酒!**

●桃の花咲く古河を味わう旅・その3

「春の小旅行・桃の花咲く古河を味わう」の最終です。12時を過ぎて、昼食と懇親会の「割烹・新



まき」へ到着しました。古河麗和会から長島会長をはじめ3名の皆様にお迎えいただきました【写真①】。

最初に春日部地区浦高会の三輪昭彦会長からのご挨拶【写真②】。

「朝から久喜麗和会の皆様と一緒に古河の街を拝見させていただきましたが、美しい花桃と素晴らしい歴史と文化を堪能させていただきました。ぜひ、この素晴らしいさを春日部市の街づくりにも繋げられればと感じました。久喜麗和会との小旅行は、昨年の川越に続いて2度目ですが、沿線の同窓会の輪を広げることからも、今回、古河市、そして古河麗和会を訪ねて良かったと思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。」



続いて、久喜麗和会の奥貫和夫会長から【写真③】。

「一昨年の古河麗和会総会に



お伺いし、とても良い街並みに、ぜひ、近いうちにお邪魔して散策したいと思い、その年の“久喜麗和会だより”に“自然・歴史・文化のある古河散策を”と書かせていただきました。その思いがこうして叶ったことを嬉しく思います。」

古河麗和会から、長島光治会長がご挨拶。【写真④】

「あいにくの天気ではございますが、ようこそ古河にお越しいただきました。古河の歴史は小冊子で見ただけだと思いますが、鎌倉時代には関東の中心地として、古河公方が拠点を構え、栄えた文化と歴史が残っています。」



さらに14回卒で茨城県議会議員の江田隆記様から【写真⑤】。

「皆様にとって古河は強歩大会のゴールとして認識されていますが、古河は室町時代には古河公方が関東地方の半分を治め、江戸時代には老中を7人、大老を2人送り出した街で、埼玉県や栃木県とも隣接し、さまざまな歴史と文化をもつ街です。ぜひ、これからも沿線の皆様と親しくお付き合いしていければ幸いです。」



乾杯後の話しは着きませんでしたが、13時30分懇親会をお開きにし、

「篆刻美術館」と「永井路子記念館」を回り、15時前に古河に別れを告げました。楽しい一日、皆様に感謝申し上げます。(完)

